

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】

作成: 7年6月19日

施策番号	施策名	住民自治の実現と地域の活力の維持	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり		
			政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり		
	主管課	魅力創造課		課長名	我妻 修一	内線 242
		施策関係課		政策推進課・総務課・都市経営課		

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図			結果		
地域の活力を維持し、住民自治を実現させ、より良い地域づくりをすすめます。			町民 町に愛着や誇りを持ち係る人	・町に愛着や誇りを持ち、地域のため に活動する		まちづくりに係る人が増えることで 地域の活力を維持する		
成果指標		説明	単位	策定期(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績
①	地域の活動に参加している 町民の割合	住民意識調査	%	38.3 (R3)	43.6	44.6		55.0
②	茅室町が好きな町民の割合	住民意識調査	%	94.3 (R3)	91.6	93.6		95.0
③	茅室町に住み続けたいと思 う町民の割合	住民意識調査	%	94.6 (R3)	92.7	95.1		95.0
④								
成果指標 設定の考え方		①前期目標値に達していないことから、同数値を設定した。 ②③基準値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。						

2. 施策の事業費

	策定期決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費(千円)	229,918	203,542	200,855		

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察							
①2024年度 の成果評価 (前年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した	想定され る理由	・行政と町民、個人と団体をつなぐコーディネート機能を発揮する町民活動支援センターの活動が大きな役割を果たし成果を上げている。				
	<input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった						
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した						
②第5期総合計 画後期実施計画 (2026年度)の最 終的な目標達成 状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	・町内会加入率が年々低下する中、単位町内会、市街地町内会連合会が主体的に取り組みに対して、町が一部支援を行ない、より効果的な対策となることで住民意識が向上する可能性がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難し いが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能						
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい						
(2)施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括							
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	町民活動支援センター運営事業		②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業				
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・行政と町民、個人と団体をつなぐコーディネート機能を発揮する町民活動支援センターについて、センター職員と町担当者で毎月行う定例会議を通じて、町の理念と方針を運営に反映できるよう努めた。 ・市街町内会連合会との情報共有を密にし、相談対応・助言など、後方支援を行なった。						
(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)							
担当課 評価	・町民活動支援センターの活動は、行政と町民をつなぐコーディネート機能を発揮している。一方で、町内会加入率低下に歯止めがかかる、住民意識のあり方そのものを見直す時期にきており、計画策定期と比較して維持したと評価した。			進捗結果			

A: 実現した
 B: (後期実施計画策定期と比較して) 大きく前進した
 C: (後期実施計画策定期と比較して) 前進した
 D: (後期実施計画策定期と比較して) 変わらない又は維持した
 E: (後期実施計画策定期と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治については今後も必要不可欠であるが、人口減少が続くことや、個人の意識の多様化など、難しい局面を迎えていくことから、町民活動支援センターの果たす役割の大きさや、住民自治の担い手確保は喫緊の課題であり、町民活動支援センター機能の強化とともに、町とのより一層の連携、また、住民自治の多様な担い手確保策の模索が必要となる。
この施策に対する住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に対する町の役割、スタンスについて、従前と現在、今後において変わったのかとの声がある。 →町のスタンスをこれまで、これからも変わらず、単位町内会、市街地町内会連合会、町、それぞれの役割、立場を明確にし進める。 ・地域集会施設については、地域活動の拠点として必要との声が多い。 →施設の必要性、規模、機能など、地域の方との意見交換の実施、合意形成を図りながら進める。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の加入率は年々低下しており、加入促進やデジタル化、加入促進などに係る、市街地町内会連合会の主体的な取り組みを、町として側面から支援する。また、住民自治の新たな担い手について、調査・研究を進める必要がある。 ・地域集会施設の再編・再整備について、地域との協議を継続する。 ・行政と町民、個人と団体をつなぐコーディネート役である町民活動支援センターについて、町との情報共有、連携を図りながら、安定した運営を維持していく。

6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	成果指標等から、維持したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標の上昇はあるが、町内会活動が衰退しているため維持したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに対して、アイデアはあるが言えない、行動できない人が居るのではないか。会合などで役場職員が第三者の立場から関わって、仲介してほしい。 ・住民自治について、町の方針が重要。 ・コミュニティは必要。地域1人1人が自分の得意を出し活躍することで、生きがい等にもつながる。 ・町民活動支援センターと役場のつながりやその団体のPRをするとよいのではないか。 	A:実現した B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した					